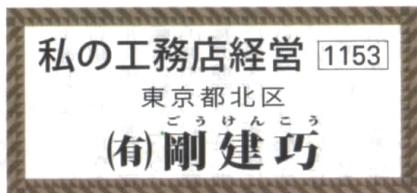


地域の住まいの悩みを 木と技術で解決する



及川 剛社長

**会社概要**

有限会社 剛建巧
〒114-0023 東京都北区滝野川7-34-10
TEL・FAX 03-6903-7335
代表取締役：及川 剛
設立：平成17年
<http://gokenkou.com/>

J.R埼京線の板橋駅
周辺は、池袋からわずか1駅だが、戸建住宅やマンションが建ち並び、都心の喧騒とは無縁の穏やかな雰囲気を醸し出している地域だ。(有)剛建巧は、板橋駅から歩いて5~6分のほどどころにある工務店。及川剛社長は38歳と若いが、既に創業8年目を迎える。

この地域には、長年暮らしてきている人が多く、住まいのメンテナンスやリフォームなどで、リフォーム工事でもその技能を存分に発揮している。例えば耐震改修の提案では金物に頼りすぎな

まんションを購入した人が、販売元の対応に不満を抱いたり、販売元の倒産によってアフターケアがなされなく

なったために同社にやつてくる。パーソンも少なくなく、住宅に関する「駆け込み寺」の役割を担っている。地域の見本のような存在といえる。

及川社長は1級技能士の資格を有する大工であり、リフォーム工事でもその技能を存分に発揮している。例えば耐震改修の提案では金物に頼りすぎな

端材や古い建物の建具を活用した家具・小物づくりも、技能を生かして行っていることのひとつ。「趣味のようないいです」と及川社長は言うが、要望に合わせて椅子やテーブル

は、まず顧客を開拓しないではないか。メンテナンスの重要性や住宅ストックの質の向上が叫ばれている今、及川社長の役割もより重要な位置づけ、知名度と信頼を獲

るうと思っています」と、技能で顧客満足度を高めようとする姿勢だ。

父の元を離れ新規開拓からスタート

父親の工務店で働き後を継ぐという選択肢もあつたはずだが、たこともある。

「2代目と呼ばれたくなかつた」ためにあえて違う会社で修業し、独立するという道を選んだ。父親の後を継いひとつ。「趣味のようないいです」と及川社長も、かつてはボクシングに打ち込んでいたが、20歳の頃に本格的に大工として修業を始めた。以来、父親の元を離れ、工務店勤務を経て平成17年、30歳で同社を設立。以来8年間、顧客との打ち合

わせから見積り設計、依頼は何でも引き受け、知名度と信頼を獲

**取材メモ**

現役の大工である及川社長は、「道具マニア」を自称するほど道具にこだわっている。古道具市で江戸時代ののみを探して



購入したり、東京で唯一残る鍛冶屋でオーダーメイドの道具を作ってもらったりもする。鉢台やのみの柄も手作りだ。

